

竹久夢二

モダン版画展

コマ絵からグラフィックデザインまで

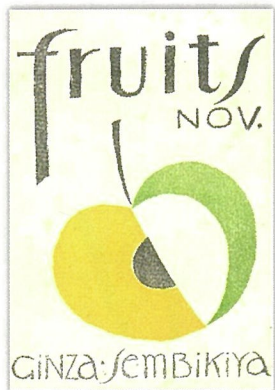


『婦人グラフ』8月号表紙 大正15(1926)年

竹久夢二(1884-1934)は雑誌や本に掲載されたコマ絵によって画家としてスタートし、人気を博していきました。「夢二式美人」をはじめとするそれらの小さな絵は、木版で刷られたものでした。夢二は生涯出版分野で活躍し、雑誌の表紙や口絵、著作本や装幀などに版画の仕事を残しています。

また、夢二は自身がプロデュースした「港屋絵草紙店」で木版の一枚絵や千代紙、絵封筒などを制作して、趣味の良い版画製品を世に送り出しました。さらに彼の卓越したセンスは商業美術においても大いに発揮され、グラフィックデザインの先駆者となりました。

夢二の原点にして、その才能、魅力の真髄が詰まったモダンな版画の世界を、どうぞご覧ください。



『fruits』11月号表紙 昭和4(1929)年

7.3[金] ▶ 9.27[日]

▼学芸員によるギャラリートーク▼

- 7.12[日] 午後3時～
- 8.9[日] 午後2時～
- 9.13[日] 午後3時～

『夢二画集 春の巻』より
コマ絵 明治43(1910)年



竹久夢二美術館

〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-2 TEL. 03-5689-0462
<http://www.yayoi-yumeji-museum.jp>

東京・谷根千 大正ロマンの香る場所



夢二カフェ 港や

美術館のカフェでくつろぎの時間を過ごしてみませんか。

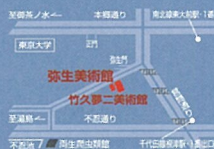
「ミュージアムショップ」

多彩なグッズを取り揃えてあります。



※ショップのみもご利用いただけます。

姉妹館：弥生美術館と二館併せてご覧いただけます。



東京メトロ千代田線根津駅 or 南北線東大前駅共に徒歩7分
JR上野駅公園口・しのばず口より徒歩20分(東京大学弥生門向かい)
※駐車場はございませんので、お車での越しはご遠慮ください。